

# 「IB教育：大学への接続」

“IB Education: Alignment for Higher Education”

IB国際バカロレア教育の実践校として国際バカロレア機構に認定されている学校の過半数が、世界の国公立現地校です。今回のフォーラムでは、IB教育と大学への接続、言語教育、幼稚園から高等学校終了までの3つのIBプログラム(PYP・MYP・DP)の評価法を紹介し、世界138カ国で実践されている21世紀の教育について講演及び討論いたします。

**2009年12月5日(土)** 午前9時～午後4時40分

玉川学園低学年校舎ホール

対象者：教育関係者・一般（事前申し込み／同時通訳あり／定員300名）

9:00～

挨拶 玉川学園長・玉川大学長 小原 芳明

9:10～9:40

講演 「大学が求めている学生：  
ロボカップが目指す科学技術を学び、コミュニケーションを体験する総合学習」  
玉川大学学術研究所K-16一貫教育研究センター主任、工学部教授：岡田 浩之

9:40～10:40

講演 「IBディプロマ教科内容と大学が求める学力」  
オレゴン大学教授：ディヴィッド・コンリー氏

10:40

休憩

11:00～12:00

パネルディスカッション 「IBと私」

パネリスト

- \* MYP：玉川学園9年生(五十嵐淳哉・ドオ福太郎)
  - \* DP在学学生：K. インターナショナルスクール東京12年生(マンセノン カルミナさん・東野裕璃さん)
  - \* 大学生：国際基督教大学1年生(高柳啓太さん：加藤学園暁秀高等学校でDP資格取得)
  - \* 社会人：ベルリッツ主任講師(星野有寿加氏：YISでDP資格取得後BA・MA取得)
- コーディネーター
- \* 玉川大学学術研究所特任教授、IB日本・韓国代表：バーナード 恭子
  - \* 玉川学園中学年教務主任：酒井 健司

12:00～12:30

講演 「IBディプロマ資格取得者の進路」  
IBアジア太平洋地域プログラム承認マネージャー：ジョン・スウィツァー氏

12:30～13:40

昼食 (当日、学内食堂は営業していませんので、昼食は各自ご用意ください。)

13:40～14:40

第1分科会「IB教科内容と大学が求める学力」  
第2分科会「海外の大学が求める英語力：付加的バイリンガリズム」  
第3分科会「IBの日本語教育」  
第4分科会「日本の科学教育とIB：SSH校としての取り組み」

14:40

休憩

15:00～16:00

第5分科会「PYPの評価法」  
第6分科会「MYPと文部科学省指導要領の整合性」  
第7分科会「MYPの評価法」  
第8分科会「DPの評価法とディプロマ資格」

16:10～16:40

懇親会 講師と参加者で情報交換



主催：玉川大学学術研究所 K-16一貫教育研究センター

共催：国際バカロレア機構アジア太平洋地域事務局

お問い合わせ

玉川大学学術研究所  
〒196-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1  
TEL:042-739-8666 FAX:042-739-8663  
e-mail:t.instit@adm.tamagawa.ac.jp

80<sup>th</sup>  
Anniversary  
Tamagawa  
1929-2009

玉川大学

www.tamagawa.jp

### 開催趣旨・概要

玉川大学では、2005年4月から学術研究所全人教育研究施設に「玉川大学 国際バカロレア教育研究グループ」を設け、2007年からは学術研究所K-16一貫教育研究センターの1グループとして、国際バカロレア教育（IB教育）の理論と実践の研究を推進しています。

このたび、国際バカロレア教育の実践と理論について、国内外の国際的教育者並びに教育関係者が交流する場を設け、情報を交換することを目的とし、2008年度に引き続き「玉川大学 IB国際バカロレア教育フォーラム」を開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。

初期のIB教育はインターナショナルスクールが実践していましたが、現在では138カ国にある2,729校のIB認定校の過半数が国公私立の現地校になっています。日本では過去1年間に3校の一条校\*と1校のインターナショナルスクールが認定を受け、現在17校が国際バカロレア機構の認定校としてIBプログラムを実践し、その内訳は13校がインターナショナルスクールで4校が一条校となっています。玉川学園は2009年3月にIB MYP認定校になりました。

このような現状を踏まえ、今回は、前半で「IB一貫教育と大学への接続」と日本国内のIB認定校で学ぶ生徒やディプロマ取得者がIB体験について語るパネルディスカッションを行います。後半は8つの分科会に分かれて、IBについて検討いたします。教育関係者のみならず、国際教育に関心のある一般の方々のご参加も歓迎いたします。

\* 一条校：学校教育法第1条において「学校」とされている教育機関、教育施設

### 分科会概要

後半は、8つの分科会に分かれます。参加お申し込みの際に、第1分科会～第4分科会から1つ、第5分科会～第8分科会から1つ、それぞれご希望の分科会を選択していただきご参加いただけます。

分科会開催時間	分科会	分科会詳細
13:40～14:40	第1分科会	「IB教科内容と大学が求める学力」 オレゴン大学教授：ディヴィッド・コンリー氏 玉川大学学術研究所助教：小原 一仁
	第2分科会	「海外の大学が求める英語力：付加的バイリンガリズム」 加藤学園バイリンガルディレクター：マイケル・ポストウィック氏 玉川大学学術研究所特任教授，IB日本・韓国代表：バーナード恭子
	第3分科会	「IBの日本語教育」 IB日本語試験官・アメリカンスクールインジャパン：内藤 満地子氏
	第4分科会	「日本の科学教育とIB：SSH校としての取り組み」 玉川学園高学年教務主任：中村 純 玉川学園高学年理科主任：小林 慎一 玉川学園IB担当教員：クインシー・亀田
14:40～15:00	休憩	
15:00～16:00	第5分科会	「PYPの評価法」 玉川学園IB担当教員：ジェイ・ビショップ
	第6分科会	「MYPと文部科学省指導要領の整合性」 東京学芸大学附属国際中等教育学校MYPコーディネーター：星野 あゆみ氏
	第7分科会	「MYPの評価法」 IBアジア太平洋地域MYPプログラムマネージャー： カーティス・ビーヴァーフォード氏
	第8分科会	「DPの評価法とディプロマ資格」 IBアジア太平洋地域プログラム承認マネージャー：ジョン・スウィツアー氏
16:10～16:40	懇親会	講師と参加者で情報交換

### 申込方法

本フォーラムはどなたでも参加いただけます（無料）。参加ご希望の方は、別紙の参加申込書（玉川大学Webサイトからも入手できます <http://www.tamagawa.jp/>）に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みいただくか、e-mailにてお申し込みください。  
なお、定員(300名)になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます。

### 問合せ先

玉川大学学術研究所 東京都町田市玉川学園6-1-1 TEL：042-739-8666 FAX：042-739-8663 e-mail：t.instit@adm.tamagawa.ac.jp